

令和7年度まちづくり市民活動補助金事業

団体名	恵那地史研究会
事業名	恵那の大地の歴史と防災

◇部門

課題解決型まちづくり活動部門

◇事業の目的

恵那市内及び恵那市に影響する周辺の地質を調査し、「恵那の大地の歴史」を明らかにし、市民に普及できる冊子を作成する。特に恵那の地質の特性と産業との関連や、地質図に無い地層の状況も含めて防災上などの問題点について市の関係機関に説明し、より安全安心なまちづくりが出来るように必要事項をまとめて、市に進言していく。また、必要な事項の説明等を行っていく。

◇事業の内容

- ①恵那市内を中心に地質調査を実施する。
- ②恵那市や周辺市の地質の状況から、恵那の大地の歴史を明らかにして市民への普及本を作成する。
- ③講演会や授業を通して「恵那の大地の歴史」を市民に伝えていく。
- ④恵那市の産業や防災に役立つ内容を明確にし、必要事項をまとめていく。

◇事業の効果

- ①恵那市民が講演会などにより恵那の大地がどのようにして出来てきたのか、恵那の産業と地質の関係などを知ることにより、恵那の大地から素晴らしい自然の営みを享受していることを理解し、恵那の地に誇りをもって生活できるようになる。
- ②小学生以上に授業の中で「恵那の大地の歴史」を話し、自然に対する興味を持つ子供を増やしていく。

③地質・地形調査の中で防災上危険な地域もある。例えば、土砂崩れの危険箇所や恵那峡の堆砂問題もあり、防災上の必要事項を関係機関等へ説明していく。

◇活動経費

- ・事業総費・・・363,269 円
- ・補助金・・・342,800 円

写真



土砂砂礫層

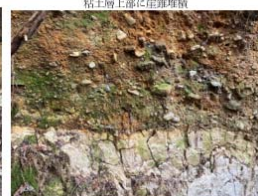
①



② (粘土層、試料無し)



粘土層上部に崖堆地帯

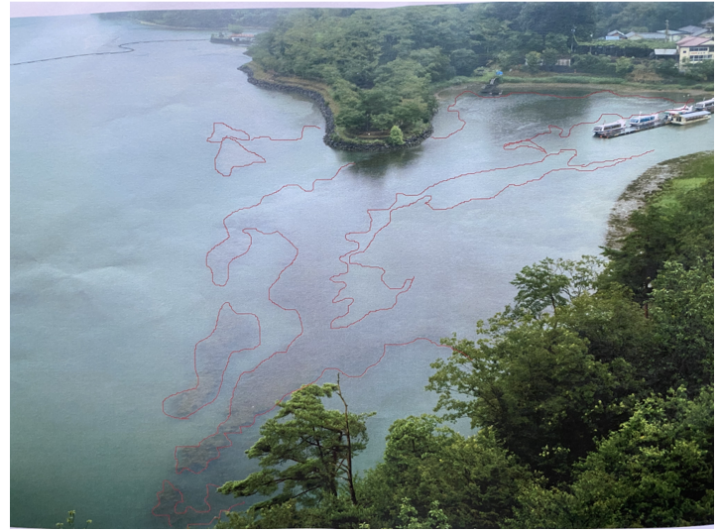


事業内容

地質調査の様子

写真

④ 恵那峡の水位が低い所（赤線で囲んだ地域）



② 恵那峡乗船場 水位が低い日の乗船場



③ 湖上の藻を取り除いたところ



恵那峡の水位が低い時の真砂土の堆積状況（写真提供：恵那峡船長より）



ボーリング結果から真砂土の深さを推定

事業内容

地質調査結果を基に今後の防災に役立てる。

例 自治区の防災講演 恵那峡の堆砂問題を関係機関に説明